



平成28年2月
第29号

伊佐市 議会だより



議会傍聴（大口小学校6年生）

目次

- 補正予算 2
- 委員会報告 4
- 決算審査特別委員会報告 6
- 総括質疑・議決結果 8
- 一般質問 10
- 議会活動 17
- 議会を傍聴して（大口小6年生） 18
- いさの夜空・編集後記 20

補正予算

減額(総額177億8千万円)

※主な補正内容・概算額で表示

環境対策

汚泥再生処理センター施設整備 (平成27年度分)

△3億2,600万円

事業実施内容が確定したため平成27年度事業を減額し、合わせて継続費の補正を行う。

施設整備事業実施：H27～H29 事業費：26億7,300万円

H27 事業費： 2億6,700万円 内容：実施設計・プラント建設工事

H28 事業費： 6億7,000万円 内容：プラント建設工事

H29 事業費： 17億3,600万円 内容：プラント建設工事・性能検査

子育て支援

◎保育所運営の支援

保育所運営に係る厚生労働省の単価改定に伴い所要見込額を増額する。

保育所措置費 **1億1,200万円**

一時保育事業 **100万円**

延長保育等促進事業 **△1,900万円**

休日保育事業 **△300万円**

児童通所支援及び相談支援 **1,000万円**

新規児童発達支援事業の開設及び放課後等デイサービスの利用者増加により扶助費の所要見込額を増額する。(国1/2 県・市1/4)

放課後の児童健全育成 **400万円**

児童クラブの単価改定に伴い所要見込額を増額する。(国・県・市 1/3)

第4回定例会

一般会計

1億4千8百万円

継続費の補正

- ・汚泥再生処理センター施設整備事業 平成27～29年度 26億7,300万円
H27 2億6,700万円 H28 6億7,000万円 H29 17億3,600万円

債務負担行為補正（追加）

- ・一般廃棄物最終処分場維持管理事業 平成28～30年度 1億1,600万円
- ・衛生センター管理事業 平成28～29年度 2,100万円
- ・大口いきがい交流センター運営事業 指定管理 平成28～30年度 500万円

農業振興

農地の集積を推進（農地中間管理事業）

1,400万円

平成27年度の実績見込みにより協力金を増額する。総額4,920万円（県10/10）

経営転換協力金	52名	2,100万円
耕作者集積協力金	2名	20万円
地域集積協力金	3地区（永池、東市山、下市山）計91ha	2,800万円

地方公務員共済の標準報酬制移行

地方公務員共済の標準報酬制移行に伴い共済費を減額する。

一般会計	△ 4,200万円
国民健康保険事業特別会計	△ 210万円
介護保険事業特別会計	△ 170万円
後期高齢者医療特別会計	△ 80万円
農業集落排水事業特別会計	△ 40万円

各委員会報告

主な質疑と内容

総務産業委員会

建設課

減額

がけ地近接等危険住宅移転事業
280万2000円

Q なぜ減額補正か。

A この事業、移転する際、旧住宅の取り壊しに対する補助、それに新築・改築の借入金額に対する利子助成の事業である。1件の申請があったが、ご高齢ということや金融機関から融資を受けられず、辞退されたことによる減額補正である。

伊佐PR課

新規

アイスワールドin伊佐実行委員会への補助金
50万円

Q 補助金措置は。

A アイスカービングは平成27年1月の20回目のイベントを最後に、これまでの実行委員会の方々は降りられた。次のアイスカービングが開催されるか不明瞭だったため、当初予算では組まなかったが、今回、若いメンバーで新しい組織「アイスワールドin伊佐実行委員会」を立ち上げられ、平成28年2月13日に開催するとのことで、補正をお

増額

木造住宅整備促進支援基金繰入金
300万円

Q 補正の理由は。

A これまでの申請件数が86件・補助金197万7000円。予算は2000万円だから、予算不足が生じる。それに充当する財源として、基金から繰り入れる。また、これまでの86件で、工事費として約7億7000万円が伊佐で回っている。

農政課

増額

農地中間管理事業補助金
1362万円

Q 増額の理由は。

A 当初予算で3558万円計上した。平成27年度の実績見込みが出たので、農地の集積協力を増額するものである。

企画政策課

新規

ビジネスホテル誘致可能性調査の業務委託
190万1000円

Q 調査の内容は。

A ビジネスホテル誘致の調査を行う。内容は、観光交流の現状把握・宿泊施設の調査・市内企業等の宿泊を伴う会議等の調

査・ヒアリングを行う。

選挙管理委員会

公職選挙法改正

Q 平成28年6月19日から施行される公職選挙法改正で、選挙権年齢が18歳に引き下げられるが、伊佐市の該当者は。

A 人口推計から、平成28年7月の人口統計を見ると、380人程度となるが、進学・就職等で住所を移されれば、その方は、伊佐市の選挙名簿に載らないことになる。

A 当初予算で、給料の高い職員が出て、低い職員が入る想定で予算組みした。人事異動がなかったことによる増額分228万7000円を計上した。標準報酬による減額が122万3000円となる。

議案第91号 伊佐市税条例等の一部を改正する条例の制定

Q わがまち特例による固定資産税の特例措置として、伊佐市で、どのような特例があるのか。

A 大口電子・ジャパンファーム・かいたく・住友鉱山で、平成26年以前に取得されたものについて、旧法によって、今回のわがまち特例と同様に、現在もかかっているものがある。

議案第87号 平成27年度伊佐市水道事業会計補正予算(第2号)

Q 総係費の法定福利費106万4000円の補正は。

文教厚生委員会

教育委員会 総務課

増額

小学校費

350万円

Q 修繕費の内容は。

A 大口小、大口東小の看板修理や針持小の外壁補修である。いずれも台風被害である。

増額

中学校費

150万円

Q 工事内容は。

A 大口中央中学校の南側法面の補修工事である。



▲大口中央中学校の南側法面

学校教育課

増額

教育振興費、扶助費
27万5000円

Q 内容は。

A 修学旅行費の補助事業扶助費1人分と単独補助扶助費4人分である。

文化スポーツ課

増額

文化会館費
委託料8万円

Q 内容は。

A 九州交響楽団コンサートで市歌を演奏してもらうため、演奏用楽譜を作る費用である。

市民課

増額

備品購入費
57万3000円

Q 内容は。

A 大口庁舎、菱刈庁舎に個人番号カードの顔認証システムを導入するための経費である。

福祉課

増額

障がい者自立支援費
2134万1000円

Q 人工透析の患者が多くなっているのか。

A 透析の患者は増えてきている。また、生活保護受給者の透析患者も増えている。

こども課

増額

扶助費1292万
3000円

Q 内容は。

A 乳幼児医療費の不足額の253万9000円の増額と、児童発達支援270万円、放課後デイサービス事業等の増額分である。

環境政策課

増額

報酬5万4000円

Q 空家等対策審議会委員の数は。

A 全部で10人を予定している。

健康長寿課

増額

保健衛生費
364万2000円

Q 結核検診の受診者の推移は。

A 平成25年度が3193人、26年度が3739人、本年度3900人見込んでいので補正した。

平成26年度決算 一般会計など8会計を認定

審査内容

決算審査に当たっては、平成26年度一般会計、特別会計ともに歳入歳出決算書、主要な施策の成果説明書に基づき、5日間にわたり各課ごとに説明を求め審査を行いました。決算の審査結果は第4回定例会で報告され全ての決算案が認定されました。

現地調査対象箇所

- 建設課
 - ・里町轟公園線道路改良
 - ・重留青木線道路改良
- 伊佐PR課
 - ・伊佐市RVパーク等整備
 - ・湯之尾駐車場整備
- 環境政策課
 - ・汚泥再生処理センター施設造成
- 総務課
 - ・消防団詰所第3分団
- 教育委員会総務課
 - ・大口中央中学校
 - ・文化会館アスベスト除去及び外溝タイル張替え

○平成26年度一般会計・特別会計決算状況

(単位：千円)

区 分		歳入額 (A)	歳出額 (B)	差引額 (C)	翌年度へ繰越 すべき財源(D)	実質収支 (C) - (D) = (E)
一 般 会 計		16,966,875	16,411,591	555,284	239,726	315,559
特 別 会 計	国民健康保険事業	4,270,681	4,383,922	△113,241	0	△113,241
	介護保険事業	3,203,607	3,141,385	62,222	0	62,222
	介護サービス事業	27,682	17,864	9,818	0	9,818
	後期高齢者医療	436,468	435,214	1,254	0	1,254
	簡易水道事業	791	790	1	0	1
	農業集落排水事業	184,015	183,631	384	0	384
	小 計	8,123,244	8,117,806	39,562	0	39,562
合 計		25,090,119	24,529,397	515,722	239,726	275,996



環境政策課：汚泥再生処理センター施設造成

○水道事業会計決算状況

(単位：円)

区 分	収 入	支 出
収 益 的	484,190,532	459,822,812
資 本 的	60,000,000	254,761,147

資本的収入額が資本的支出額に不足する額194,761,147円は、建設改良積立金6,035,654円、過年度分損益勘定留保資金178,747,319円及び当年度消費税資本的収支調整額9,978,174円で補てんされている。

審査を通じての 指摘事項 (主な事項抜粋)

各課全体

繰越明許費が依然として多い。国の政策発動の時期により、止むを得ないものもあるが、規律のある予算執行とすべく、努力されたい。主要な施策の成果説明書の作成においては昨年と比べ、工夫がなされ、より分かりやすいものとなった。一層の努力を望む。備品台帳の有り方について、見直しを含め検討されたい。

林務・農政課・農業委員会

有害鳥獣被害については、連携し、より一層の踏み込んだ取組を望みたい。

教育委員会 総務課

各学校の施設充実に、より一層取り組まれるようお願いしたい。奨学金の回収に引き続き努力されたい。

○主要な財政指標

(単位：千円 %)

区 分	平成25年度	平成24年度	類似団体
財政力指数 (3ヶ年平均) ※1	0.36	0.35	0.41
標準財政規模	9,625,868	9,892,621	10,658,472
基準財政収入額	2,864,228	2,765,996	3,287,134
基準財政需要額	7,659,427	7,831,417	8,131,795
経常一般財源収入額	9,057,026	9,400,184	10,046,612
実質収支比率 ※2	3.3	3.4	5.7
経常収支比率 ※3	88.5	84.6	88.7
実質公債費比率 ※4	10.9	12.1	12.0
地方税 徴収率	現年課税分	98.3	98.3
	滞納繰越分	12.9	16.2
	合計	91.3	91.4
地方債残高 (特定資金を除く)	13,762,873	13,239,446	16,465,888
債務負担行為額	1,278,897	1,159,430	1,807,147

※1【財政力指数】

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た値の3年間の平均値。高いほど財源に余裕があるとされる。(1以上であれば財政力が極めて強い)

※2【実質収支比率】

標準財政規模に対する実質収支額の割合。概ね3%~5%が望ましいとされる。

※3【経常収支比率】

経常的な経費に経常的な一般財源をどれだけ充当したかを示す。70%~80%が標準とされる。

※4【実質公債費比率】

市税・普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた公債費相当額に充てられた額の占める割合の3ヶ年平均値。18%未満が望ましい。

税務課
あらゆる人材を活用し、徴収率の改善を図りたい。

農業委員会
耕作放棄地への対応について、林務課・農政課と連携し、実効性のある施策実施を望む。

企画政策課
企画立案に長期的ビジョンを持つて臨み、企画政策されたい。コミュニティ協議会のより一層の充実に向け、育成・強化を図られたい。

農政課
PPP問題も含め、国の政策に対応するべく政策執行をお願いしたい。

総務課
技術職員の確保、育成に、引き続き注力されることを強く望む。

学校教育課
ソーシャルワーカー及び教育相談員のより一層の充実を図り、いじめ・不登校の対策に努められたい。

いしごも課
保育料の回収については、もっと工夫し改善に向け努力されたい。

環境政策課
汚泥再生処理センター施設整備事業については、所期の目標が達成されるよう万全の体制で臨まれるよう強く望みたい。

伊佐PR課
関連する部署等と協力して、施設のPR力を上げてほしい。

○健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (13.40)	- (18.40)	10.9 (25.0)	- (350.0)

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は、「-」と記載。
※カッコ内は、本市の早期健全化基準値である。

一般会計決算審査特別委員会委員

委員	市来 弘行
副委員長	森山 良和
委員	森田 幸一 前田 和文 沖田 義一 今村 謙作 柿木原 榮二 畑中 香子



伊佐PR課：湯之尾駐車場整備

建設課
住宅貸付資金の回収に向け、より一層努力されたい。

健康長寿課
各種検診の受診率向上(特に乳がん)及び健康づくり推進に努力されたい。

総括質疑

発言者	質疑事項
岩元 克頼議員	1 議案第82号 平成27年度伊佐市一般会計補正予算（第7号） 2 議案第89号 伊佐市空家等の適正管理に関する条例の制定について
今村 謙作議員	1 議案第89号 伊佐市空家等の適正管理に関する条例の制定について
柿木原榮一議員	1 議案第89号 伊佐市空家等の適正管理に関する条例の制定について 2 議案第90号 伊佐市総合交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について 3 議案第82号 平成27年度伊佐市一般会計補正予算（第7号）
森田 幸一議員	1 議案第95号 伊佐市農業委員会委員定数に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について

議決結果一覧表

議案番号	件名	議決結果
81	鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合理約の一部変更について	原案可決
82	平成27年度伊佐市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
83	平成27年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
84	平成27年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
85	平成27年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
86	平成27年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
87	平成27年度伊佐市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
88	伊佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決
89	伊佐市空家等の適正管理に関する条例の制定について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
90	伊佐市総合交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
91	伊佐市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
92	伊佐市災害被害者に対する市税の減免に関する条例及び伊佐市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
93	伊佐市大口心身障害者等福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
94	伊佐市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
95	伊佐市農業委員会委員定数に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について	原案可決
96	伊佐市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
97	大口いきがい交流センターの指定管理者の指定について	原案可決
98	教育委員会委員の任命について	原案可決
陳情9	歩道設置についての陳情書	不採択

第4回定例会（12月）の表決結果

賛否が分かれた議案のみ（○は賛成、●は反対、欠は欠席）

議案番号	議案	議員氏名																	
		森山良和	今村謙作	山下和義	森田幸一	緒方重則	久保教仁	前田和文	諏訪信一	畑中香子	沖田義一	鶴田公紀	左近充諭	柿木原榮一	福本千枝子	市来弘行	中村周二	岩元克頼	丸田和時
72	平成26年度伊佐市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	平成26年度伊佐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	平成26年度伊佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	伊佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情8	子ども医療費無料化を求める陳情																		
	項目1 子ども医療費の助成を中学卒業まで拡充すること	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	項目2 子ども医療費の自己負担をなくすこと	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	●	●	●
	項目3 県に対し償還払いではなく、現物給付にするよう要請すること	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	●	●	●

議長職のため表決には参加しない

市民生活の 向上をめざし 一般質問 14人



問

基本施策作成に当たり、人口の動向というものが非常に関係してくる。市民へのアンケート等も実施しているが、どのような対策が必要と考えているか。

答

地方創生の大きな柱として基本目標を5つ挙げている。交流人口の増加、それを定住人口が増える、そういう流れに持っていこうというのが1つ目の柱であり、2つ目が教育環境の充実によって幅広く人材を育成していく。3つ目に6次産業化、これは仕事をつくる事になる。また、4つ目に健康づくり、スポーツを推進するということと、5つ目に、安心して子育てできるまちづくりというのを推進していく。これを基本目標ということ

地方創生の

基本的理念は

市長／5つの柱を中心に取り組む

前田和文 議員

で取り組む事にしたい。

消防組織体制は現状のまま
で市民の安全は確保できる
のか

問

消防体制及び、緊急対応力の充実・強化が求められている。伊佐市から見た財政的課題、消防組合の体制について懸念される点は。市長の見解を問う。

答

消防の場合は、ほぼ人件費が占めるので、職員数を増やすことはできない。それぞれの消防士のスキルを上げる、資格を取得して充実していくためには、2署体制にして、職員が資格を取り、研修してスキルを上げて住民の安心安全に寄与するということが大事になる。しかし先



般消防議会でそれが否決され、2署2分遣所を維持でやっていたかざるを得ないという状況であり、消防署の建て替え、消防車の入れ替えを考慮すると、交付税、かかる予算、歳出で足りないところは一般財源を持ち出すしかないというのが現状である。

伊佐市内の若者を採用せよ

市長／採用は試験の結果による

森田 幸一 議員



問 直近3年間の応募者・採用者を伊佐市内、市外別に伺いたい。

答 25年度の応募者47人（採用者市内2人・市外4人）、26年度の応募者110人（採用者市内2人・市外8人）、27年度

の応募者46人（採用者市内3人・市外2人）、3年間で応募者203人（採用者市内7人・市外14人）である。

問 伊佐市の若者を採用してほしいのは、市民の切なる願いである。この3年間の採用は、伊佐市外が圧倒的に多い。なぜ市内から採用できないのか。また、今後求められる人材は、地域に夢を抱き腰を据え地域づくりができる若者である。限界集落が進む中、集落を守る為にも、地域づくりができる人材を、選考材料に入れるべきではないのか。

答 採用試験は平等でなければならぬ。市内、市外は関係なく平等の考えで対応している。採用は試験の結果に基づくもので、この鉄則は絶対に崩せない。優秀な若者であれば何処の出身であっても一生懸命にやる。

新納忠元公の墓碑整備について

問 新納忠元公は、薩摩藩の郷中教育の支柱になったと言われ、文武両道等の武將を敬慕する人達が墓参りに多数訪れるが、墓碑の周辺が散乱している。内外を含めて整備はできないか。

答 指定文化財の保護管理については、基本的にはその所有者又は所有者から譲られ管理される方々が保護することになっている。保護、管理されている忠元神社の氏子の方々の連携を取りながら、文化財保護審議委員会に諮って整備していく。

問 曾木の滝公園などが墓碑に立ち寄ると思うが、墓碑の西側に駐車場の整備はできないか。

答 忠元廟を訪れる状況では、今の駐車場が足りていると判断している。駐車が不便であれば砂利を敷くような処置を検討したい。

問 本市の地方創生を考えた上で以下の点につき伺う。①本市産業の特性。②雇用吸収力と市民所得双方に寄与する産業。③域外から稼ぐ産業。（基盤産業）。④各産業間の取引を通じて市内での波及効果。



地域経済を循環構造に

市長／肝に銘じて実行する

岩元 克頼 議員

全国的には電気、ガス、熱供給、金融・保険であり、伊佐市とは異なる。雇用吸収力があり、かつ所得にも寄与しているのは医療・福祉。③域外収支がプラスになる産業はないが、取引流入額は非鉄金属、電子部品・回路で20億円超。④についてはデータがないが、製造大手の域内仕入れは、全体の1割程度となっており、波及効果は限定的だ。

問 地域全体の従業者数は基盤産業部門（農林、製造、観光、広域運輸等）の従業者数に比例。ここが770人増えると人口が1万人増加するとも言われる。また、域外から稼いだマネーを域内で循環させる構造に変えていくことが重要だが見解を伺う。

答 地域内で富が循環する仕組みをつくらないと永続性のある地域にならない。あらゆる分野の業界・仕事に言えることであるからそういうことを肝に銘じながらやっていく。



埋設枯れ葉剤の対応は

市長／徹底した管理をお願いする

柿木原 榮 一 議員



問 1970年代に、大口間根ヶ平に375kg、山野小川内小字鬼神に345kg、合成過程でダイオキシン類の一種である2・4・5Tが埋設されたがどう認識されているのか。

答 北薩森林管理署が現地点検を行い、特に異常がないとの報告書が提出されている。

問 安心・安全で市民の健康を思うが、国有林で九州管理局は毎年1カ所埋設農薬の埋設箇所特定及び掘削対象範囲確定業務請負契約で一般競争入札をやっている。埋設された農薬の無害化処理も確立されているが、分析、無害化処理はお願いできないか。

答 北薩森林管理署で徹底した管理しているので、管理しているのか。



地方創生伊佐市総合戦略の展開にむけて

問 鹿児島県の地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金（地方創生先行型）タイプI、タイプIIの交付金の決定が11月中旬に南日本新聞に記載されたが伊佐市はどのようなものを応募したのか。

答 地方創生はよほど慎重に、真剣に取り組まなければならないので応募していない。

問 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる施策は何があるのか。

答 結婚をするための出会いの場が少ないので、「いさえん」とかいべんと、催し物に取組み、若者が集い、触れ合う場所を作る。出産、子育ては、子育て交流拠点施設等を旧大口南中跡にオープンさせ、進める。



問 本市に木質バイオマス発電所建設の話聞くが、建設場所や規模・雇用予定人数等は、どのようになっているのか。また、伊佐地区の林業発展につながるか。

答 現時点で得ている情報は、場所は下殿の伊佐森林組合の敷地内で、約四千坪の土地に建設される予定になっている。発電規模は1999kwで、年間2万3000tの木材が必要となる。雇用は30人で、うち25人を現地採用と聞いている。伊佐市内に建設されると、大量に原木が消費されることになり、今まで利用されていなかった間伐材が、お金に変わり、森林所有者に還元されて、森林整備が進み、新たな雇用や、経済効果が期待される。

林業発展の

起爆剤になるか

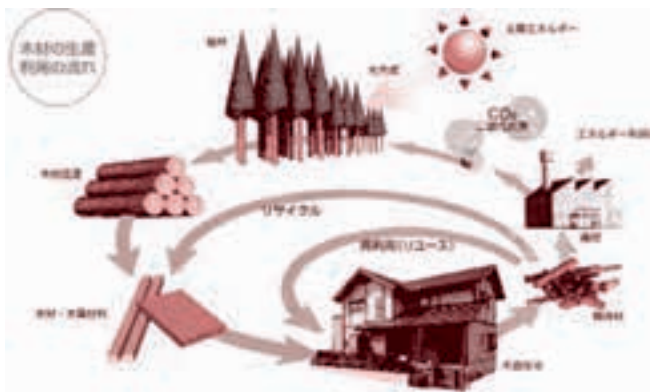
市長／雇用や経済効果も期待

左近充 論 議員

問 建設が決まったら、進入路等市道の整備は、考えられないか。

や、材木の集材場などできるのか、今の所、全く分かっていないので、計画等が明らかになった段階で考えなければならない。

答 具体的に、どのような位置取りで建物



※林野庁 資料より

TPP離脱への声上げよ

市長／政府の施策批判する場ではない

畑中香子 議員



問

環太平洋連携協定（TPP）交渉が大筋合意と発表された。国会決議で聖域とした重要5品目での関税撤廃などが含まれており、明らかに決議違反である。農業を基幹産業とする伊佐の市長として見解を伺う。

答

米は米国より7万t、豪州から0・84万t新たに輸入されるが、備蓄米で対応する。肉類も16年目で現在の38・5%から9%まで下げる。肉に対する施策を上げ、セーフガードも発動されるので、農業に影響が出ないよう願う。本市が不利益をこうむらないよう国に提言していく。

問

日本は今、米の需要が毎年8万tずつ減少し、水田の生産余力があるのにWTOに基づき毎年77万tもの輸入を続け、農家は米価の暴落で大変な苦勞をしている。その他さまざまな形で重要5品目での関税撤廃、大幅引下げが盛り込まれる。本市の農業への影響額は。大筋合意は撤回すべき、交渉から離脱するよう声上げよ。

答

影響額は前回48億円と答弁した。政府の施策に対して評価や批判する場ではない。どのように対応していくかを議論する。

暖房設置で教育環境を整えよ

問

子どもたちの学力向上、健康保持のため、冬場の暖房を設置せよ。旧大口南中の暖房設備について廃校後の取り扱いを。

答

山坂達者な、生きる力をもつ子どもを育成する。旧大口南中の暖房設備は大口中央中の特別教室と旧大口南中校区の小学校へ引継いだ。

問

暖房が必要ということではないのか。

答

学校長判断で、要求があれば対応する。



問

伊佐市の子どもの医療費に関する助成事業は、乳幼児医療費助成・子ども安心医療費助成・ひとり親家庭医療費助成と子ども医療費に関する資金貸付事業がある。前年度の決算実績から見ると、申請件数がありにも少ない。子ども医療費助成事業全般にわたって検討が必要だと思ふ。

答

申請件数が少ない理由は、所得制限を350万円で設けていること。年間8万円の控除額を設定していることが原因だと考えている。

問

伊佐市の年間収入マップ【別載】から見ても、控除額8万円は大きすぎる。安心して子育てができるまちづくり・心配

子ども医療費助成の拡充を

市長／総合的に判断し結論出す

久保教仁 議員

なく子育てができる環境を整えるべきだ。どのように対処されるか。

答

限りある財源をどのように配分し、使っていくのかということになる。議会における結論、市民の方々の意見を総合的に判断し、結論を出す。

問

市として、21年度に准看護学校に支援をしている。この支援、概ね10年ということであった。准看護学校をどのように捉え、その現状はどうなのか。再度の支援が必要なきにきているのではないか。

答

これから迎える高齢化社会の中で、福祉施設の運営を初めとする病院の看護体制に支障をきたすことがないよう、マンパワーを育成したい。働く場として医療福祉関係が大きな位置を占める。必要な支援は、行政の施策だと位置づけているが、医師会の方々と意見交換をしながらこの1年の間にはつきりさせたい。

伊佐市の年間収入マップ

300万円未満	6240世帯	57%
300万円～500万円	2750世帯	25%
500万円～700万円	1200世帯	11%
700万円～1000万円	470世帯	4%
1000万円以上	230世帯	2%

平成25年住宅土地統計調査（総務省統計局）2015.12.1発表

奨学金返済免除は可能か

市長／返済が前提である

森山良和 議員



問 奨学金を利用して進学した方々が、将来地元に戻ってきて就職すれば、奨学金の返済を免除する。

このような制度があれば、進路の選択肢も増えいろいろな可能性が広がると思う。制度への取り組みは検討さ

れないのか。

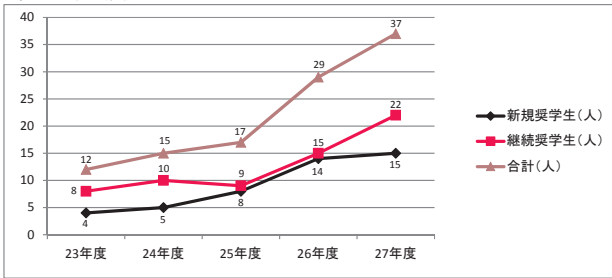
答 奨学金そのものの意味、位置づけをはっきりさせなくてはいけない。あくまでも奨学金は返すというのが前提になっており、返さなくてもいいという規定を作ること自体非常に無理があると考えられる。若い人が、将来才能を伸ばすためにどのような施策が、国にも地方にも求められているのではないかと思

問 高校生や若い人たち各種団体など、地域活動や、まちづくりを一生懸命頑張っている人たちへの支援を行う。これが、ひいては伊佐市で仕事をし、いく、業を起すということに繋がるのではないか。

答 伊佐市にいてるだけで簡単に業が起せるとは思わない。やはり、外に出て修行をし、自分が苦労をして色々な体験をする。その中から自分が何を業と

して起すかということを考えて伊佐に帰って来る。そして、私どもや金融機関に相談をし、会社を起すという手順になるのではないか。ここにずっと住んでいる方に支援をし続けて、その方が業を起こして成功するとは思えない。業を起すというのは、それぐらい厳しいものだと考える。

奨学生数の推移



※卒業、中途退学等があるため、新規と継続の数に相関性はない。



問 大口高校の活性化を支援するための「大口高等学校活性化基金」条例が制定されて、丁度一年が経過した。入学者増に向け、一定の効果は出て来たように思われる。しかしながら、条例が制定されて以来、関係者を含め、懸命な努力が続けられているが、今年もまた、かなり多くの生徒が他の地域へ流出している。入学者増を定着するための、あと一押し

の支援策が作れないものだろうか。

3年前に、大分県の豊後高田市が条例制定した「特別奨学生」制度の創設である。入試が始まる前に、市内の中学校から、校長推薦のもと、学業、人物ともに特に優秀な生徒を2人ずつ、選考し、「特別奨学生」として、大口高校に入学して

あと、ひと押しの支援策は作れないか

市長／幅を広げながら考えてみたい

市来 弘行 議員

もらう制度の導入だ。文武両道の志の高い生徒に入学してもらうことによつて、学年全体の学力アップ、志気向上を目指して行く。時を追つて、その効果が表れてくるのではないだろうか。結果として、入学者増に向けた確かな足取りが始まると考える。伊佐市独自の具体的な支援策として、検討する価値は十

分にあると考えるが、どうか。

答 来年に向けて、もうひとつ魅力を作り出す必要があるのかなということも考えているので、ひとつの検討には入れさせて頂きたい。学業、スポーツ、文化など、幅を広げた支援策を考えてみたい。



子宮頸がんワクチン 接種の健康被害は 市長／発生していない

議員 一 信 訪 誨



問 20歳代から30歳代に急増する子宮頸がん、10代前半に接種すること、ウイルスに感染する可能性が低くより効果に予防できるとして、接種は2010年秋から始まった。公費助成で2013年4月から、法律に基づく定期接

種となったが、この間、頭痛や倦怠感、関節痛、認知機能の低下などの健康被害が生じ、厚生労働省は、積極的勧奨を中止した。伊佐市における接種対象人数と接種人数は。

答

接種対象は、小学生から高校1年生までの女子で、平成23〜27年度までの対象人数は、約1150人、接種人数は561人、接種回数は3回で完了となる。1回接種561人、3回接種完了者は、513人で接種率は48・8%となっている。

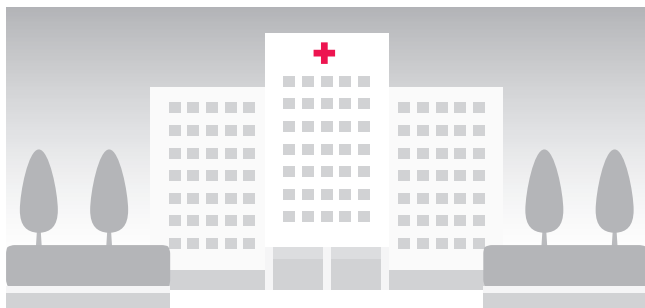
問

接種による頭痛、倦怠感など、健康被害が全国的に報告されているが、接種による体調不良等の申し出は発生していないのか、健康調査の実施は。

答

接種による体調不良等の申し出は発生していない。接種済みの方の健康調査を行うことは、不安な感情をおおるような形にならないだろうかということも想定され、市独自

の調査等は現在のところ考えていない。



問 伊佐市の未利用土地を、伊佐市以外から移住してくる方に安い料金で提供できる考えはないのか。

答

未利用土地を活用することは有効である。市の、標準的な価格よりやや安価な設定かと判断している。さらに安価に設定すると、その地域の売買の実例となり、土地取引価格への影響や固定資産税評価のための不動産鑑定評価への影響があるので、慎重な対応が必要である。

問

市民が、自分の土地に伊佐市外の人に家を建てさせ、住まわせることができたら土地の持ち主に、固定資産税2年分くらい、お礼をする企画はできないか。

定住促進を どう考えるか

市長／未利用市有地の活用は有効

中村 周一 議員

答

いくら補助金を出しても、歩けないくらいぬかるんでいた。市として整備はできないものか。

答

雨にぬかるんだ敷地のほうは湯之尾神社の所有になっている。自治会が借用して集会施設として活用している。自治会からの申請があれば、村づくり整備事業等の市の補助を利用して何らかの敷地整備が検討できると思う。

問

2015年の神舞は、雨が降り大変だった。神舞は大変素晴らしいものと考え、水は

湯之尾神社の場所の整備は



自治会未加入対策について

市長／自治会加入を推進していく
山下和義 議員



問 自治会の未加入者が増えてきている。ごみ問題や防災等にも影響があると思う。対策をどう思っているのか。

答 地域の環境保全等、自治会単位の活動は大事であるので、自治会加入の推

進を図っていく。

問 転居や転入時の対策、また、民間等のアパート等の管理者等に働きかける必要があると思う。市役所等に横断幕や加入促進の対策強化ができないか、また、強化月間等の考えは、

答 窓口では加入案内をする。自治会加入の理解が得られるように努力する。未加入者のいるアパート等の方々にもお願いする。また、4月を強化月間にする方向で検討す



男女共同参画の推進について

問 1億総活躍社会の実現のためには女性が安心して働ける社会でなければならぬ。育児休業や介護休暇が取れるような社会にしなければならぬ。対策を伺う。

答 男女共同参画基本計画を策定している。今後、これを進めていく。また、女性が安心して働ける施策を推進していく。

問 児童生徒にも必要性を理解してもらうことが必要である。教育現場の取り組みを伺う。

答 男女平等と男女が協力する意識を育てることは大事である。全ての学校で男女を尊重するよ



教育行政を問う

教育長／学力向上を図る

鶴田公紀 議員

問 地方創生政策アイディアコンテスト2015が開催され、全国から907に及ぶ応募の中からベスト10に、明光学園高校2年生チームのアイデアが選ばれた。素晴らしいことだと思いが見解を伺う。

答 (市長) 『そんな出会い、牛さあつなぎもすっプロジェクト』が優秀賞に輝き、非常に良かったと思う。今後、本市の政策に生かせるよう考えていきたい。

問 (教育長) 伊佐市内の子どもたちみんなが、そのような発表ができるような能力を持った子どもに育ててほしいと強く願う。

答 市内の高校生が頑張る一方、小学校6年生と中学校3年生を対象

に実施された、全国学力テストの結果、本市の平均正答率は全国や県平均と比較し学力の差があるが対応策は。土曜いきいき講座受講生は成果が出たと言いが学力テストの成績に反映され

たと思うか。2月26日に、中高一貫文化交流事業で九州交響楽団の公演があり、演奏指導も受ける。リクエ

答 学力向上方策は授業充実と家庭学習習慣を身につける。特に小学校段階で基本を充実させる。交響楽団はフルメンバ

が対象、要望曲は市歌と各中学校の校歌を依頼、一般席は250席。羽月北小は校区コミュニティに今後の

対応や課題等を依頼している。

問 ふるさと納税について
ふるさと納税の状況と返礼品目の経緯について。

答 平成25年度126万2千1559万円、平成26年度3491万3977万円、件数も金額も年々増加している。返礼品目は平成20年度当初が特産品セットのみ。平成27年11月から23品目から複数選べる特産品を設定した。

税金の納期回数を 増やせないか

市長/国保・介保・後期高齢者医療は増やす
福本千枝子 議員



問 平成26年度の決算において、収入未済不納欠損が増えている、要因は。督促したにもかかわらず、納付されず時効となるが、それぞれ何年か。

答 生活困窮、事業不振、死亡であり、国

保と後期高齢者医療保険が増えている。時効は市税と国保が5年、介保と後期高齢者医療保険が2年である。

問

市民税の特別徴収（給与からの天引き）は毎月引かれる事で負担を感じないが、市民税と国保税は年3回納期が重なる。固定資産税と国保税は年2回納期が重なり、負担が大きい。納期回数を増やせないか。

答

市民税と固定資産税は地方税法によりできない。国保、介保、後期高齢者医療保険については平成29年度をめぐりに考える。

ふるさと納税は

問

ふるさと納税は特産品をPRできることと貴重な財源となる。全国の自治体のトップは都城市の13億3300万円、1000万円、焼酎365本と話題となった。本市の状況は。また、返礼に伊佐牧場のチーズや民宿は考えら

れないか。

答

昨年度は4000万円、今回返礼を23品目に増やし、「ふるさとチョイス」に移行したことで、10日間で倍増した。伊佐牧場のチーズは協議を済ませた。民宿は検討していく。

問

使い道で選ぶ人が多いとあるが本市への要望は。また、ふるさと納税を基金として積んでおく事はできないか。

答

子育て、高齢者対策が40%を占める。基金は今後、額が飛躍的に伸びれば考えるが、今のところ要望されている事に充てる。



議会活動



年末年始交通事故防止運動キャンペーン



▲大山酒造



▲サンコーテック



▲大口酒造 第2蒸留所

伊佐市まちひとしごと創生総合戦略等調査特別委員会 市内企業見学



議員研修会



肥薩4市議会議員研修会

▲水俣市

の皆さんが一般質問の傍聴に訪れました。 なかで8人の作文を抜粋し掲載しております。



皆さんの作文は、こちらでご覧になれます。【伊佐市ホームページ】 → 【伊佐市議会】 → 【市議会だより】

ぼくは、市議会見学で、議員さんは伊佐市民のためにがんばってくれているんだなあと思いました。ぼくたちが安全に楽しく過ごせるためや、暮らしを快適にするために、こんなに話し合っていて「すごいなあ」と思ったり、質問したりする時や、それに対する答えを言う時には少しはく力を感じました。ぼう聴は初めての経験で勉強になったので良かったです。特にTPPについて話し合っていた時、貿易の事などについては興味が持てました。そして、貴重な時間をいただいで見学させていただき、ありがとうございました。今回の時間を無駄にしないよう、きちんと授業で生かしてがんばろうと思います。ふだん何となく過ごしていたけど、話し合ってくれている議員さんのおかげなので感謝したいです。本当にありがとうございました。

宮脇 仁崇

10日木曜に市議会を見学させてもらってありがとうございます。あまり見ない市議会が見れてとてもいい機会になりました。私達がやっている話合いとはちがって、大人の話合いで私達と全然ちがいました。1つの質問に、たくさん時間をかけて話し合っていたので、すごいなと思いました。自分が話すときはしっかりと手を挙げていたし、相手が話し終わったら、すぐに話していたので私もこれからそうしようと思いました。伊佐をもっとよりよくするために、生活のことや教育のことなどに1人1人が真剣に考えていました。議員さん達は大変だと思うけど、伊佐のために頑張っているんだなあと思いました。伊佐がよくなっているのは議員さん達のおかげです。今日は市議会でたくさんのことを学びました。これからは、今日学んだことを話し合い活動で生かしたいです。本当に今日はありがとうございました。これからも伊佐のために頑張ってください。

坂元 依吹

12月11日は、ぼくたちに市議会の様子を見学させてくれてありがとうございました。ぼくは市議会がなにをやっているのかは、だいたい塾でならっていたので知っていたのですが、もっとくわしく何を話し合っているのかについて、知ることができたのでよかったです。ぼくたちが見学した時は、三つのことについて話し合っていました。一つ目は「TPP問題」について、二つ目は「水俣病問題」について、三つ目は「学校の教室に暖房器具を付けるか」でした。この三つの話し合いでぼくがおどろいたのは、ぼくたちの身近なことから全国的なことまで話し合っていたことです。TPP問題や水俣病については、テレビのニュースでも見る場合があります。しかし、学校の教室に暖房器具を付けるかは、ぼくたちの身近なことです。つまり、市議会は色々なことを話し合う、すごいところだということが分かりました。見学のおかげで色々勉強になりました。ありがとうございました。

藤田 優一

私は、伊佐市のために、そこまで議員さん達が考えてくださっている事を知りませんでした。TPP問題や、水俣病問題や、学校のストーブをつけるかどうかを話し合っているのを見ていて、議員さんがTPP問題について話している時、議員さんの口から「農家の人に聞いてみると」と言っていたので、そこまでして、この議会に参加しているんだという事を知りました。そして、私も人を説得する時には、困っている人からの意見を入れたいと思いました。また、6年生でも分かるように色々と考えて下さって、本当にありがとうございました。伊佐市のために議員さんが何をしているかも分かりましたし、議員さんが私達市民のためにここまで思っている事も知りました。私は、いつ学校にストーブを置くのだろうと思っていたけれど、ストーブをつけるのには、費用がたくさんかかって大変だという事も分かりました。ストーブを置くのにも大変だという事も分かったので、少しは寒さもがまんしようと思いました。このような体験ができて良かったです。1時間があっという間にすぎました。本当に私達市民のことを考えて下さってありがとうございました。

高濱 夏彩



12月10日、11日 大口小学校6年生 傍聴の感想文をお寄せいただきましたので、その

こんにちは。私は大口小学校6年1組の吉元愛織です。今日は会議を傍聴させていただきありがとうございました。私は、傍聴するのは初めてなのでとても静かで、小学校でやる討論会みたいな感じではないという事だったり、話をする人のマイクだけ赤く光っている事など、会議中の様々な事が分かりました。あと、私は社会の事は、そんなに考えたりはしなかったのですが、今日傍聴させていただいて市長さんなどのお話や、議員さんのお話を聞いて、いつもではなくていいので、もっと社会の事について考えてみようと思いました。また、時間があればインターネットやニュースを見て様々な事を、もっと知りたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

吉元 愛織

今回は、議会を見せてもらってありがとうございました。僕は初めて、議会を見て、皆さんは、大きな声で、次々と発表していた所がすごいと思いました。皆さん質問にも、早く答えて会話が成り立っていました。僕は学校などで、会話がうまく成り立たないことがけっこうあります。僕も議員さんたちみたいに、大きな声で早く会話が成り立つようにしたいです。僕も議員になって、人々の役に立てるようにしたいです。僕の夢が一つ増えました。今度の議会もがんばってください。

敷根 大空

先日は市議会を傍聴させて頂きありがとうございました。私は今回初めて市議会を傍聴したのですが、議事堂にいらっしゃった皆さん一人一人が伊佐市民の事を第一に考えてくださっていて、私自身、伊佐市民として、とてもうれしく思いました。そして、今回の質問にあげられていた「TPP問題」ですが、私も心配です。外国から来た安い食べ物と国産の値段の高い物。値段から考えたら、外国産の安い食べ物を選びますが、品質や安心・安全な方を選ぶのだったら、国産の方を選びます。でも、考えはひとそれぞれなので、絶対こっちの方を選ぶというのは、分かりません。今後、この問題が日本の農業にどう影響していくのか、とても心配です。でも、このことをきっかけに私は、自分の国のために、何ができるんだろうと考えました。少しでも日本の役に立てればいいなと思います。今回、私は市議会を通して、自分の考えを深めることができました。とても勉強になった1時間でした。本当にありがとうございました。

横山 眞子

今回は、議会を見れてとてもうれしかったです。ぼくは、東京の国会のようなものなのかなと思っていたのですが、思ったより室内は小さいと思いました。また、市役所の中にあり整備の整った場所でした。毎日のように、伊佐のことについて議論してくださり、伊佐もよくなっていくのではと思います。今回見ていてぼくは、議員の話しを聞いていて、市長と議論していく中で最初は、何が何だか分からなかったのですが、だんだん話しの内容が分かりました。6年生のぼくは、今はまだ分からないことがあるけれど、大人になるにつれてだんだん国が行っていること、市が行っていること分かると思います。なので、大人になるまでにぼくもがんばりますので、議員の方、市の職員の方もがんばってください。

蓑手 将弥

子ども達から質問！

Q. 市議会の人達の横の別室にいる人達は誰ですか。

A. 別室は「課長控え室」で、議員さん達のどんな質問にも答えられるように、たくさんの課長さんが控えています。

Q. 議会事務局の人達は議会中にどんな事をしていますか。

A. 議会の内容を録音、インターネットで中継動画を流す機械の操作、ひとりひとりの発言の時間を計ったりしています。

いさの夜空



冬の星座の主役、オリオン座が西へ傾くと、春の訪れを予感します。農繁期を前に束の間の休息をしている、米どころ伊佐のカントリーエレベーターの上、オリオン座が傾きました。実はオリオン座の左上、赤い星ベテルギウスが近々超新星爆発を起こすのでは、と予想されています。数十億年の生涯の最後、大きな星は爆発してその生涯を閉じるのですが、ベテルギウスはここ15年で体積が15%ほど収縮し、形も既に球形から崩れているので、まさに終焉の大爆発の瞬間を迎えつつあります。ただ、それが明日になるのか、千年後になるかはわかりません。宇宙の時間の流れのなかでは千年もほんの一瞬です。流れゆく悠久の時間の中で、輝くオリオン座とカントリーエレベーターが一年という時の刻みをみせてくれました。

写真・文 左近充 円



平成28年 第1回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

2月

26日(金)	本会議(招集日)
--------	----------

3月

7日(月)	本会議(2日目)一般質問
8日(火)	本会議(3日目)一般質問
9日(水)	本会議(4日目)一般質問
11日(金)	本会議(5日目)総括質疑
14日(月)	総務産業委員会
16日(水)	文教厚生委員会
17日(木)	総務産業委員会
18日(金)	文教厚生委員会
25日(金)	本会議(最終日)

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【伊佐市議会】

↓
【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・ふれあいセンター・まごし館でも
議会ライブ中継 をご覧になれます。



編集・発行責任者

議長

丸田和時

議会広報等

特別委員会

委員長

今村謙作

副委員長

緒方重則

委員

森久畑 森田保中 山香良
久保 教香 和子

編集後記

暖冬から一変、1月24・25日は記録的な寒波により、全国各地で水道管の破損による断水。伊佐市でも、約5千世帯が被災した。鹿児島県の北海道と揶揄される伊佐市。寒さには強いはずだが、さすがに氷点下15・2℃には太刀打ちできない。水道管は、氷点下4℃を下回ると凍結すると言われている。伊佐ならではの、強い寒波に対する対策をどうするのか今後の課題として残された。

昨年、又々の台風による倒木や断水。そして、今回積雪と断水。この1年間の災害。関係界の方々や担当課をはじめ市職員の災害時に対する懸命な対応に感謝。

伊佐市は昨年10月、宮城県南三陸町と大規模災害時の復旧活動に必要な職員派遣や、水や食料などを提供する災害協定を結んだ。2年前8月・西之表市との協定に続き2例目。相互支援体制の確立と広域防災体制の充実を自覚している。

2年連続「住みよさランキング」鹿児島県内1位の我が伊佐市。さらに住みやすい伊佐市を目指して、官民一体となった取り組みが求められる。

伊佐市議会でも、災害のない安心して暮らせるまちづくりを目指して、各議員が地域の課題解決に鋭意努めている。が、各議員が、どのような思い・考えで一般質問をしているのか。委員会の予算審議でどのような質問をしているのか。市民の方々が傍聴していたかどうか。伊佐市議会はもっと活躍できる。市民の方々へ委員会一般質問の傍聴をお願いしたい。

議員・議会が変われば市が変わる。

市民の方々の傍聴を！

久保 教仁